

予算審査特別委員会

日 時 令和8年3月5日（木）

14：20～16：57

場 所 議場

出席者 議長、副議長、議員7名（欠席：なし）（傍聴者：なし）

説明員 實延課長、石倉室長、花倉室長、関口参事、島山まち未来課長、川上参事、
荒金主幹

書 記 長崎局長、倉光書記

○櫃田委員長 ただいまより予算審査特別委員会を開会いたします。

委員の皆様の御推挽をいただきまして、委員長を拝命しました櫃田です。よろしくお願いいたします。

本会議において付託となりました令和8年度各会計予算9議案について審査を行います。

審査日程は配付のとおりです。

審査の進め方は、一般会計、特別会計、事業会計を問わず所管ごとに説明を受け、その後質疑、討論、意見集約を行います。

なお、最終総括では、意見の調整、討論、採決を行います。会議はフリートーク方式で行いますが、発言を求めるときは、発言ボタンを押した上、挙手をお願いします。発言許可をした後、起立の上、簡潔明瞭にお願いいたします。

傍聴につきましては、日南町議会傍聴規則を準用します。

それでは、総務課の審査を始めます。

實延課長。

○實延総務課長 失礼いたします。それでは、総務課から本日から予算審査特別委員会、どうぞよろしくお願い申し上げます。

説明に入ります前に、総務課の説明員を紹介させていただきます。

私をはじめ、私の隣から、石倉総括室長兼財務室長でございます。その隣、花倉総務室長でございます。その隣、関口参事でございます。以上、4人で説明させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、総務課の事業に入ります前に、先に令和6年度の決算審査の内容につきます。

て御意見を頂戴しておりました。その取組についてから説明させていただきます。

全般事項としまして、1点目の御指摘は、主要施策の成果及び財産に関する調書の記述についての御指摘でございました。御指摘への対応でございます。令和7年度決算から対応していくこととなりますけれども、現在予算は前年度予算とのバランスを、決算につきましては前年度決算とのバランスを図りながら、記載に取り組んでいるところでございますが、このたびの御指摘を踏まえまして、決算の記載内容につきましては、このたびの予算の項目とそろえていくことを基本に進めてまいりたいと考えております。また、若干、差異などあるやもしれませんが、またその都度御指摘も頂戴しながらよりよい作成に努めてまいりたいと思います。

2点目の適正な予算計上と執行についての御指摘に対する対応でございます。具体的に示されました後期高齢における繰越金の取扱い、畜産振興対策事業の奨励金の適正な処理を行うことはもちろんのこと、予算の執行につきましては例月出納検査におきましても、事務処理についてる御指摘を頂戴しているところでございます。改めて職員全員が定期的に予算の執行状況を確認するとともに、必要経費の補正予算計上など、事が起きた時点でどんな対応が必要か、これは担当者任せにならないように、職員全体、組織内での体制強化にも努めてまいりたいと考えてございます。

続いて、3点目の町職員の確保と配置についての御指摘でございます。近年、職員の確保には大変苦慮もしておりますが、特に専門職の確保につきましては、保健師、保育教諭については若干採用はあるものの、土木技師、社会福祉士などは採用に至っていない状況でございます。あらゆる選択肢において、日南町役場を選択していただけるよう発信し続けることが大切だと思っておりますし、ほかとは違う魅力をつくっていく必要があろうかと思っております。一層の職員確保強化に努めてまいりたいと思いますが、限られた人員の中におきましても、適正な職員配置となりますよう、毎年度の人事配置において努めてまいりたいと思いますが、対応が急務な場合もございます。その都度臨時的に職員確保にも努めるなど、速やかに策を講じてまいりたいと思います。

以上が令和6年度の決算審査意見への対応の説明とさせていただきます。

続きまして、令和7年度予算の審査意見を頂戴しておりました。総務課につきましては、消防施設整備管理事業としまして、消防ホースは町が全額負担すべきという御指摘を頂戴しておりました。このことを踏まえまして、速やかに令和7年度中途でございましたが、補正予算にて上程しましたところ可決いただき、現在配付も順次行ったところでござい

す。この後御説明も申し上げますが、当初予算としましては、新規事業になります消防ホースの購入費も計上しております。また、こちらも速やかに購入し、各自衛消防団への配付、そして、皆さんが安全で安心してホース利用いただけるように、いざというときの体制にも努めてまいりたいと思います。

以上、令和7年度の予算審査意見に対する対応の説明とさせていただきます。

ひとまずここで説明を終えさせていただきます。

○櫃田委員長 このことにつきまして、質疑ございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、附属資料の4ページから11ページ、総務費について説明をお願いします。

實延課長。

○實延総務課長 そうしますと、令和8年度予算説明附属資料、紙ベースに基づいて説明させていただきます。

まず、4ページ目、一般管理事務でございます。予算額5,853万4,000円、比較812万4,000円の増でございます。主な理由でございますが、ふるさと納税に係ります報償費、役務費などにつきましては、目標額を5,500万円とした関係で増額しております。また、地方創生に向けてがんばる地域応援事業としまして、職員の人材育成に係る経費について150万円を計上しております。こちらにつきましては、地域活性化センターの10分の10の支援を受けまして、既存の研修事業とも連携を図りながら、職員の育成強化を図りたいと計画したものでございます。

また、先ほど本会議で御指摘いただきました交際費につきましては、10万円ほどアップしておりますが、具体的には昨今お亡くなりになった際に、町から生花も御用意させていただく場合がございます。その辺りの費用もかさんでおり、若干でございますが増額をさせていただいた経過でございます。その他、執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続いて、5ページ上段、職員健康福利厚生事業でございます。予算額409万2,000円、比較1万円の減でございます。内容は大きく変えてございませんが、職員のキャリア支援業務につきましては、昨年度講師謝金を委託料に含めていましたが、性質上、報償費に変更を行ったところでございます。キャリア支援も5年が経過し、きめ細かな支援をいただいておりますけども、引き続き職員のサポート支援をお願いする予定でございます。執行経費につきましては記載の内容でございます。

続きまして、下段、職員給与事務でございます。予算額10億8,080万2,000

円、比較1億153万9,000円の増でございます。人事院勧告によるもののほか、昨年度当初予算の人件費の計上につきましては見誤った計上を行っておりました。改めておわび申し上げます。大幅な増額となっております。管理執行につきましては、再発防止策としまして、確認者を増やしてチェックの強化に努めてまいっているところでございます。

特定財源には、活用が見込まれる各種補助金を記載をしております。御確認をお願いしたいと思います。

続いて、6ページ、文書管理事務でございます。予算額599万4,000円、比較56万1,000円の減でございます。主な理由でございますが、例規集のシステム利用料の減額、また、追録代の減額でございます。

6ページ下段、財政管理事務でございます。予算額7,504万8,000円、比較7,499万7,000円の増でございます。先ほど本会議で御指摘いただきました、本年度から新たに日南病院建設に向けて、令和8年度は7,500万円を積み立てる計画でございます。

続いて、7ページ目、町有財産整備管理事務でございます。予算額2,683万4,000円、比較339万7,000円の増でございます。主な増額の要因でございますが、つるぎ会館の外壁の修繕工事を280万5,000円、需用費の修繕費に新規で予定をしております。また、委託料の地方公会計制度財務支援委託、総合管理計画マネジメント支援につきましては、数年に一度のバージョンアップ、端末の更改により対前年146万円の増額となっております。同じ委託料の資産利活用サポート業務でございますが、68万6,000円の減額でございます。令和7年度におきまして、公共資産利活用のガイドラインを作成をしまして、今後、業者支援も最小限にとどめながらも、効率的な遊休資産の処分に努めてまいりたいと考えてございます。その他の執行経費、財源につきましては記載の内容でございます。

続きまして、8ページ上段、庁舎管理事務でございます。予算額2,864万7,000円、比較64万5,000円の増でございます。主な理由ですが、議会棟の屋根の防水工事に180万円計上してございますが、屋根の防水工事を一度に行いますと、約2,000万円から3,000万円かかる見込みでございました。このため、平準化と申しますか、複数年に分けて工事を行いたいと考えてございます。また、職員用の椅子につきましては、更新を終えましたので、その費用120万円が皆減となっております。その他執行

経費、財源につきましては記載の内容でございます。

続いて、8ページ下段、庁用自動車管理事務でございます。予算額774万円、比較231万8,000円の減でございます。主な理由でございますが、令和7年度公用車購入費が246万6,000円が皆減しております。その他の経費については、おおむね前年どおりでございます。

続きまして、9ページ上段、交通安全対策事業でございます。予算額161万7,000円、比較99万円の減でございます。指導員の改選によりまして、報償費、役務費は2名減の26人分で予算化をしております。その他執行経費は前年並みでございます。

続いて、9ページ下段、自衛官募集事務でございます。昨年度と同額の2万円を計上、例年どおり募集事務の協力を行ってまいりたいと思います。

続いて、10ページ上段、選挙管理委員会一般事務でございます。予算額は昨年度と同額の14万8,000円でございます。内容も変更はございません。

続いて、10ページ下段、町議会議員選挙執行事務でございます。予算額225万7,000円の皆増でございます。令和9年4月の任期満了に伴います選挙事務に係る経費を計上してございます。

続いて、11ページ上段、町長及び町議会議員選挙費でございます。予算額992万9,000円の皆増でございます。令和8年12月の任期満了に伴います選挙事務に係る経費を計上してございますが、町長選に合わせまして、現在欠員の議員の選挙も兼ねて行う予定でございます。

続いて、11ページ下段、県知事及び県議会議員選挙費、予算額366万5,000円の皆増でございます。令和9年4月の任期満了に伴う選挙事務に係る経費を計上してございます。内容は御確認をお願い申し上げます。

以上、総務費までの説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○櫃田委員長 新規事業の132ページは特に説明はありませんか。

實延課長。

○實延総務課長 失礼いたしました。紙ベースで132ページをお開き願います。失礼いたしました。一般管理事務の中に、新規事業としまして、意欲ある学生応援事業と銘打ちまして、インターンシップに参加します学生の旅費、それから宿泊費の一部を負担をして、募集確保に努めたいということで新規で計上させていただいております。25万円でございます。1人当たり上限を5万円としまして、5人分を見込んでおります。まだ、当てが

あるとかいうわけではございませんが、これから令和9年、順当にいけば9年4月採用の職員の確保に向けて、現在進めようとしてます人材育成の方針等とともに確保に向けて努めてまいりたいと思います。

本ページの説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○櫃田委員長 それでは、1項目ずつ質疑を許します。

まず、4ページ、一般管理事務について質疑ございますか。

大西保委員。

○大西委員 まず、先ほど新規事業で意欲ある学生応援事業を説明ありましたが、同じく新規事業で、地域創生に向けてがんばる地域応援事業とあります、150万。これの新規事業の説明がないんですが、どのようなところで、どのようなことするのか分からないんですが。逆に150万、先ほどの25万、もしどこかにあれば教えてください。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 言い訳にもなりますが、予算編成の過程では総務課のみならず、働き方改革の推進チームの中で、人材育成の基本方針、新たなアクションプランというものを本年度の作成に努めてまいりました。その並行しまして、新規事業としましては、一般管理事務で新規と書いております。冒頭、私も150万とざっくり申し上げましたが、報償費としまして80万円を、旅費に60万円を、役務費に10万円を、これらを足し上げた150万円を活用しながら、人材育成の、具体的には講師をお呼びして、年数回に分けて研修会を行いたいと考えております。同じ意識の下で、同じ目的で、今後日南町職員としてあるべき目標に向かって進もうということを専門的な講師にお願いしながら、伴走型という形で進めてまいりたいという内容でございます。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 今、口頭で説明されました。それは大事なことじゃないですか、これやっぱり新規事業で。ほかにも件数ありましたけど、今回、今年度本当に新規事業は少ないし、目玉というのはほとんどないんですが、やはり私も人材育成方針でどうのこうのって質問しました中で、先ほどいろんな関係部署とのあるかも分かりませんが、やっぱりその辺についてはちゃんとすべきじゃないかと思うんですが、いかがですか。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 後ほどになりますが、新規事業のページということで、改めて提出をさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 次に、ふるさと納税の寄附額が5,500万、前年度は5,000万でした。これの令和7年度の実績、個人のふるさと納税、そして企業版。企業版はめでたく表彰されました、大きな金額だと思います。その内訳と、今回、委託料と代行手数料等とありますが、昨年度5,000万の金額に対しての報償費とか委託料が、150パーか125パーアップしてるわけですよ。実際に去年は5,000万の目標、じゃあ、今年は10パーアップの5,500万ですけども、実際に委託料とか代行手数料自身が、極端なこと1.5倍まで上がってるんですが、それは実績でこうなったのか、ちょっとあまりにもその増額になり過ぎてるんじゃないか、ちょっとその辺の実績を出していただかないと判断がつきにくいんですが。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼いたします。ふるさと納税の今年度の実績ということで、2月末時点の状況ということでの御報告になりますが、個人版のふるさと納税が約4,300万円余り、企業版のほうにつきましても、2月末時点ということで1,150万円余りという状況になっております。また、御指摘いただきましたシステム利用料、代行手数料につきましては、7年度の実績等を加味しながら、目標額であるこの5,500万に対して率を掛ける形で計算を出させていただいております。実際には、7年度の実績が、例えば個人版であれば、既に4,000万円を超えておりますので、この5,500万という目標はKPIから取ってきたものではありませんが、恐らく超えることができるだろうというふうには考えております。なので、一応町としての歳入、寄附として受けれる額のほうは6,000万円、個人版のほうを4,000万円、企業版のほうを2,000万円という形で6,000万円と考えまして、それに対するシステムの利用料、代行手数料という形での率を掛けることで金額を出しておりますので、その分金額が増えているという部分がございます。実際にはもう少し伸ばせるよう努力はしてまいりたいと思っておりますが、計算上そういった形で出させていただいております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 分かりました。個人が4,000万、企業が2,000万、6,000万を想定して算定してますよということで、基本的には足らないように余裕を持った予算ということですね。

次に、もう1点、先ほど町長交際費につきましては、令和6年、7年は130万でした。

今回10万円上がったということで、これは総務課長の御判断で10万上げた、それで今度、花輪とかその辺があるんでということはよく分かりましたが、ちょっと私、調べたときに、令和6年度は130万で、決算のほうも本当にもうニアイコールで128万9,000円で、1万1,000円ぐらいぎりぎりだったんですね。令和7年度は130万に対して現時点で幾らぐらい使っておられるのか、足らなかったのか、その辺はどうなんでしょう。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼いたします。交際費の今年度の支出状況ということでございますが、2月末時点でもうほぼ130万円を使い切るような状況でございました。そのこともありまして、7年度の3月補正のところで、一般管理事務の予算の中でも組替えという形ではあるんですが、10万円の組替えで増額をさせていただいて、交際費を140万円にする形で調整をさせていただいております。何か大きな支出の予定があるというわけではないんですけども、あったときに全く対応できないということではいけないという点もありますし、6年度の際にも、今言っていたみたい、ぎりぎりになってしまったというところもございましたので、物価も上がっております、念のためというところで対応させていただきたいと思っております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 それで、私、ちょっとこの町長交際費を遡って予算決算、予算決算とちょっと調べておまして、あくまで今は予算のことをやっとなんですけど、やはり予算は決算の実績を見ながらというのが通例だと思うんで、過去2年間遡って見たわけです。令和6年度の予算は130万です。決算128万9,000円ですが、このリスト、これ公表されてますが、皆さんにちょっと見ていただいたほうがいいかも分らないので、これの実績と令和7年度の実績、ちょっとそれを資料請求したいんですが、よろしいでしょうかたしかホームページ見ればいいですよ。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 後ほど提出をさせていただきたいと思います。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 企業版ふるさと納税で、新しくウェブプレゼンというような表現が書いてありますが、これは具体的にどのような形でプレゼンをするのか、具体的に伺います。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。御指摘いただきましたウェブプレゼンのことですが、企業版のふるさと納税を行いたいといった形で御連絡をいただく企業が増えておりまして、そちらと、例えばZ o o mだったりとか、ああいうのでつなぐ形でうちの町の特徴であったりとか、こういった事務の流れでいつ頃ならできますとかっていうような、こさいの打合せをさせていただくことが増えておりますので、こういった記載をさせていただきました。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 新規事業にあります意欲ある学生応援事業、132ページのほうでちょっと若干お伺いしたいと思います。このインターンシップ型の地域おこし協力隊に対する、要するに補助だと思いますが、それで間違いないでしょうか。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 本事業が対象としているものは、本町受験生の増加の効果を期待して行うものでございます。正職員の募集に關しての事業となります。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 これはほんなら、地域おこし協力隊とは全然違うということで了解しました。その中でも旅費、宿泊費として上限5万円というのが設定してありますが、これの内訳ですね。要するに個人的な個人割合、全額出すということではないではないかという気がしたもので、これの内容について、ちょっと説明願いたいと思います。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 本町としましては、新規事業として新たな試みなんですけど、先駆的な事例として、全国にもこういったインターンといいますか、まず、いろいろと移住、定住を図るときに、旅費でしたり宿泊費を支援されてるところが多々ございます。そういったところを参考にしたときに、金額としては上限5万円程度が妥当ではないかという設計はさせていただきました。中には、かかった経費の全額の2分の1で、上限を10万だとかいう設定もありますし、中には、逆に下方的な3万円だとか、1万円という設定もございました。いろいろなケースも参考にさせていただいた中で、本町の場合はパーセントといいますか、割合を設けず上限5万円という区切りで、それぞれ運用させていただいてはどうかというふうに思った次第でございます。現に北海道辺りからも問合せでしたり、受験があったのも事実でございます。そういったところも、やはり本町につながりというか、魅力を感じていただける人には大いに活用していただきたいと考える次第でございます。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 確認ですが、要するに、この上限5万円までは実費全て出して、それ以上が個人負担になるという考え方でよろしいでしょうか。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 委員、お見込みのとおりでございます。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そしたら、今と同じところですけども、すみません、確認ですが、これは新たに補助金を出すということなのか、それともインターンシップということ自体を新たに始めるということなのか、その辺りを確認したいんですが。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 現在もなかなか広報不足なところもございますが、インターンシップ制度を設けまして、要綱を設けまして、本町での、まず受けたいという学生さんを随時募集をしております。手が挙がりましたら、大抵が8月、9月の夏休み期間中でございますけれども、そういったまとまった機会を捉えて学生さんを受け入れてる実績もございます。ただ、これまでこういった支援をする機会がありませんでしたので、全て実費いただいていたんですが、今後はそういった学生さん来ていただく際には、これがあるから来たいというのも嫌らしい話でもあるかもしれませんが、一つはこれも魅力の一つとして、本町に来得やすいきっかけとして御活用いただきたいという趣旨でございます。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。そしたら、これまでの実績というか、どのくらいのものなのか、の方が来ていただいているのか、ちょっと参考までに教えてもらえればと思いますけども。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 本年度、昨年度につきましては、残念ながらゼロでございました。総務課主催のインターンシップでございます。一昨年度がお一人、その前がお二人という実績でございました。余談ですが、保健学科等で保健師であるとか、看護師の、将来的になれる方々については福祉保健課等でも実施を行っており、実績が毎年上がっている状況でございます。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。ぜひ宣伝をしていただいて、たくさんの方に来ていただけるようにしていただきたいと思います。

それと、ちょっと別の問題についてですが、4ページに戻りまして、犯罪から県民を守る緊急対策事業補助金、一番下のほうですけども、負担金補助及び交付金の下のほうですね。これが30万円となっていて、県の財源が15万、これ昨年、令和7年の予算を見ると、予算が15万円で県の補助金も15万円ということなんですけど、これは、まずは補助が減ったということなんですか、補助の割合が。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。御指摘をいただきました犯罪から県民を守る緊急対策補助事業ですが、昨年度、初めて県のほうであるということで、県からの予算に合わせた説明資料のときには10分の10ということで、ただ、事前に各市町村の枠の割当てが、町としては日南町は15万ぐらいというふうに聞いておりましたので、15万円で計上させていただいておりました。ただ、実際4月になって、改めて説明会等で聞いた際には、補助率が2分の1ということであったものであります。また、実際枠のほうも拡充をいただきまして、30万円いただいておりますので、内容としては7年度並みということで取り組みたいというふうに思っているものになります。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。それで、令和7年度並みということで、これのほう非常に重要な事業で、毎回まち協などでも交番の警官の方から詐欺の被害というようなことのお話があって、それを防ぐためにも非常に重要な事業だと思うんですが、これ、実績はどのくらいあったんでしょうか。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。今年度の実績といたしましては、これも2月末時点で、まだ数件相談のものもありますか、今20件というふうに確認しております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうですか。結構それなりの数があって、20件で、それで予算枠としては15万円以内で収まっているということなんですか。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。当初は15万円で上げさせていただいておりましたが、枠のほうで拡充いただいた形でもありましたので、30万円の、町としては予算で向かっておりまして、現在その予算枠内で対応をさせていただいております。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 元に戻るようで申し訳ありません。意欲ある学生の事業についてですけど、これは、要するに日本全国を対象にしたものであって、外国人は入ってない。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。今、考えておりますこの意欲ある学生応援事業といたしましては、国籍等に言及したものはこれまで考えてなかったんですけども、そもそも町職員の募集をする際に国籍とかの要件があったかと思います。外国人を含むとかっていう形での西部町村会とかでの募集ではなかったと思っておりますので、結果、職員につながることを目的としておりますので、そこは限らせていただくほうがミスマッチがなくていいのかなと思っておりますので、また細かい要綱をつくる際には、ちょっとそこの辺は気をつけさせていただきたいと思っております。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 分かりました。要するに、外国人は取りあえず除外ということですね。学生でなければ絶対出ないということになるわけですか。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。現時点でイメージしておりましたのが、学生のインターンシップを呼び込むというところにしておりましたので、学生さんをとというふうに考えておりました。逆に、そうではなくて広く、例えば資格のある方とか、経験のある方こそ採ったほうがいいのかあるのかなと思いますので、そうなってくると、ちょっとまた要綱等のデザインを変えていく必要があるのかなと思っております。現時点で当初予算で考えておりましたのは、学生のインターンシップというところでしたので、御意見いただきましたので、また、ちょっと工夫はさせていただきたいと思います。

○櫃田委員長 よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

そうしますと、5ページ上段、職員健康福利厚生事業について。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、職員給与事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）

6ページ上段、文書管理事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、財政管理事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

7ページ、町有財産整備管理事務。よろしいでしょうか。

8ページ上段、庁舎管理事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

岡本健三委員。

○岡本委員 庁舎管理ということなので、12月にも質問しました被爆アオギリのことに
ついて、もう一度ちょっとお聞きしたいんですが、町長は特にどこに植え替えてほしいと
いう希望はないという答弁がありまして、それであとは職員組合の方と役場の話合いとい
うことになるんですけども、私の聞いた限りでは、職員組合としては必ずしもイチイ荘
のほうに移設するということが本意ではないというような意見もお聞きしてるんですけれ
ども、これ、もう一度、場所について組合のほうと協議していただくことはできないでし
ょうか。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 お話がまとまってから私も久しいところもございます。最近の組合、ど
なたからの情報かというのもよく分かりませんが、あらかた組合と町のほうでの話合いと
いうのは決着をついていたものと認識もしておりましたので、また、時期も見て行動され
るものだと思っておりましたので、御意見は参考にはさせていただきたいと思えますけど
も、今後のまた協議になろうかと思いますが、たくさん候補地もあるということではなく、
当時いろいろと考えられた中で進めてまいられましたので、今のところは現状どおりかな
というふうには、個人的には考えております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 いろいろな意見があるのかもしれませんが、組合の方の中でも。ただ、
ちょっと、ぜひ再検討をというふうにお願いします。やっぱり、せつかくですから、でき
るだけ人目につく場所がいいと私は思います。それとあと、ちょっと確認ですが、それに
ついては、費用負担はもう職員組合さんのほうはされるということなんですかね。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 そのように予定をしておりますので、本町のこの中には予算化はしてご
ざいませぬ。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 庁舎管理のところで。議会棟の屋根の防水の修繕というのがあって、説明では、
一度にすると二、三千万かかると。ですから、180万でって、雨漏りがするのにそんな
こと言っとなんていいんでしょうかね。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 雨漏りをする場所については緊急修繕等で対応も行いますし、単年度で予算
をたくさんつけてしまうと、また今度の更新時期のときにまた同じようなことが起こって

しまうということで、状態を確認していただいて、緊急性の高いところから高いところからかかるような形で行いたいというふうに考えております。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 毎年これだけずつずっとするというのではなくて、今年だけ180万で修繕を、緊急のどこをしていくというふうに捉えればいいですか。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 今見ていただいた箇所、今、5か所に分けて積算を出していただいております。その中でも緊急性の高い場所からかかるということで、今年度は180万円の工事ということでございます。

○櫃田委員長 下段、庁用自動車管理事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

9 ページ上段、交通安全対策事業。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、自衛官募集事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

大西保委員。

○大西委員 昨年の予算のときも聞いたんですが、令和6年度実績は4名の方が入隊された。じゃ、令和7年度何名で、令和8年度の予定を、もし入隊予定もう決まっておれば教えてください。だから、7年実績と8年度予定をお願いします。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 今年度につきましては受験者ゼロ、実績。

○大西委員 受験者、7年度はゼロですか。

○関口参事 ゼロです。

○大西委員 8年度は。

○関口参事 8年度は、申し訳ございません、今のところまだ把握しておりません。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 こちらのほう、名簿を高校を卒業される年齢の方にお送りしているということだと思っておりますけれども、それについて、一応確認は取っておられるということなんです。送らないでくださいという、そういう申出があったのは何人の方おられたか、教えてください。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 7年度は対象者が20名、対象年齢の方がおられました。うち9名が名簿の提供は辞退したいというところで11名の提供、それから、申し訳ありません、先ほどの

大西委員の質問ですが、8年度の入隊予定なしであります。

○大西委員　ゼロ、ゼロ。

○関口参事　はい。

○櫃田委員長　岡本健三委員。

○岡本委員　そうすると、約半数の方が提供をしてくれるなということで申出があったということなんですね。だから、あと残り11人の方も個別に丁寧に確認をしていけば、もしかしたらそういう意見もあるかもしれないと思うんですけど。現状では端的に言えば、問合せを送って返事がなければオーケーということで送られてるということだと思うんですけども、それは送っていいのかどうかっていうことを、例年20人前後の人数だと思いますので、そこは丁寧に対応をしていただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

○櫃田委員長　関口参事。

○関口参事　以前にも似たような御意見をいただいた記憶がございます。鋭意努力をしているところではございますが、現状、辞退の意思表示のあった方のみの除外という方向でいかせていただきたいと考えております。

○櫃田委員長　次に、10ページ上段、選挙管理委員会一般事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、町議会議員選挙執行事務。（「なし」と呼ぶ者あり）

荒金敏江委員。

○荒金委員　選挙全般のことについてになると思うんですけども、衆議院選挙のときに、菅沢地区に臨時の投票ですかね、車で行かれたっていうのがあったんですけども、その菅沢だけにそういうふうな形で行かれたっていうのはどういう理由からだったんでしょうか。

○櫃田委員長　花倉室長。

○花倉室長　失礼します。菅沢に設けさせていただいたのは期日前投票所というものになります。こちらにつきましては、以前もちょっと説明をさせてもらったかと思うんですけども、菅沢地区のほうからちょっと立会人等を出すのがつらいということの御意見をいただいて、投票所の閉鎖を考える中での代替措置を考えておるところでございます。今、1回、2回やっただけで閉鎖をしてしまうと、この制度が知れ渡る前にという形にもなってしまいますので、5回、6回と回数を重ねてこういった期日前投票所をここで設けて、こ

こでも投票ができますよってというのが浸透した段階で、地元の協議も経た上で投票所の閉鎖ということを考えて、今、菅沢地区でのみの実施ということになっております。ほかの地区でもしたいということがあれば、期日前期間もちよっと短い選挙もありますので、全箇所というわけにはいきませんが、御意見いただければ開くことについては検討していきたいというふうに考えております。

○櫃田委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 特に衆議院選挙のときは、投票日当日がすごい大雪だったっていうこともあると思うんですけども、期日前投票に行くには、それなりに時間がかかる地域もあるわけで、そういうのでそちらのほうに出るついでがあれば行ったんだけど、特別そういうこともなかったんで、投票日の日に行こうと思ったらもう雪で出られなくて、投票ができなかったって話を……。

○櫃田委員長 荒金委員、それは自分の意見ですか、それとも質疑ですか。

○荒金委員 いや、そういう状態があるので、移動期日前投票所っていうのを開いていてほしいと。希望があればできるっていうふうに言われたので、その辺の確認のことです。

○櫃田委員長 続きまして、11ページ上段、町長及び町議会議員選挙費。（「なし」と呼ぶ者あり）

高橋洋志委員。

○高橋委員 すみません、立会人、職員さん等の費用が、国政選挙に比べてかなり低い設定になっておりますが、この辺の違いを。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 失礼します。こちらについては、基本的には時間外の費用というふうに考えていただきたいんですけども、期日前の期間が短いということもありまして、つく時間外も少ないという形になっております。

○櫃田委員長 下段、県知事及び県議会議員選挙費。（「なし」と呼ぶ者あり）

そうしますと、12ページの消防費から最後まで説明をお願いします。

實延課長。

○實延総務課長 そういたしますと、12ページ上段、非常備消防管理運営事務からの説明をさせていただきます。予算額1,527万7,000円、比較251万9,000円の減額でございます。主な事業内容でございますが、新規事業としまして、消防団員の家族をねぎらうとともに新団員の加入への理解を深めたいとの目的から、リフレッシュ支援

事業を新たに予定をしてございます。

ページを飛びますが、133ページをお開き願います。新規事業シートでございます。消防団員の世帯に感謝状と5,000円のたったもポイントを贈りたいと考えている内容でございます。目的につきましては、先ほど申し上げたとおりでございますが、やはり一生懸命本町の安全安心の暮らしを支えていただいている消防団員の皆様ではありますが、その団員を支えていただく御家族の皆様の御理解あつてのことということで、さらに本町の姿勢として新たに設けたいという思いで、新規事業を提案させていただいたものでございます。何とぞ御理解賜りたく、また、御意見も頂戴できればと考えております。

ページお戻りいただきまして、その他の執行経費等は記載のとおりを予定をしております。また、御確認をお願いいたします。

続きまして、12ページの下段でございます。消防施設整備管理事業でございます。予算額1,300万8,000円、比較676万5,000円の増額でございます。主な事業内容でございますが、こちらも新規事業を予定しております。消防ホースの購入費として630万円が新規でございます。

行ったり来たりと申し訳ございません、134ページの新規事業説明資料を御覧いただきたいと思ひます。今の予定でございますが、令和11年度までの4年間で集中的に更新を行ってまいりたいと考えております。もちろん消耗品でございますので、突如のホースの破れとか、交換が必要な場合は逐次対応をしてまいりたいと思ひますけれども、そのほかについては計画的に進めたいということで、導入時期によりますけれども、1990年から2009年の製造のホースについてが集中しております。その後ですけれども、順次更新を行いながら、大体ですが、20年周期での更新を図っていききたいという、今のところ計画でございます。

また、すみません、12ページにお戻りいただきましてでございます。その他の執行経費、財源については、例年の記載のとおりの内容を予定をしております。

続いて、13ページの上段、防災対策事業でございます。予算額2,578万6,000円、比較864万円の増額でございます。主な事業内容ですが、J-ALERT受信機の更新費に447万7,000円を予定をしております。また、木造住宅の耐震設計、それから耐震改修を新規事業として1件ずつ計上。事業としましては、無料診断もありましたので、本町では拡充というような形で整理しております。これらにつきましては、県事業を活用しての実施をしたいと新たに計画をした内容でございます。

それから、危険木の事前伐採推進事業委託料としましては、760万円を予定をしております。県事業を活用しながらここ数年行ってまいりましたが、令和8年度で終了予定と聞いております。孤立集落の防止を念頭に、河上地域地内での事前伐採を集中的に行ってまいりましたが、なかなか事業規模から進捗は思いのほか進んでない状況でございます。来年度も引き続き、河上地内に取りかかりたいと思っておりますが、業者さんともほかの対象候補として、大入峠でありましたり、上萩山といったような候補も出ておりますが、その辺りは県の予算の進捗も確認しながら、今後、再来年度以降続けるのかどうかも慎重に見極めながら進めてまいりたいと考えてございます。

また、避難所の整備事業を長年行ってまいりましたが、令和7年度、1年延長して行ってまいりましたが、当初の目的は達成したものとして、令和8年度から廃止という形で整理したく存じます。一区切りということでございますけれども、また、地域の皆様からまとまった要望等ありましたら、また再考も必要かなと思いますが、ひとまず一区切りとさせていただきたく存じます。その他の執行経費、財源については記載の内容でございます。

続きまして、14ページ上段、単独災害緊急対策事業につきましては、例年どおりの枠取り予算としまして40万円を計上してございます。

続いて、14ページ中段、公債費償還事務（元金）でございます。予算額8億9,751万9,000円、比較2,506万9,000円の増でございます。終了予定の起債と償還開始予定の主な起債を掲載をしておりますので、それぞれ御確認をお願いいたします。

続いて、14ページ下段、公債費償還事務（利子）でございます。予算額3,085万円、比較1,021万6,000円の増でございます。増額の理由ですが、近年の地方債の借入利率の上昇によるものでございます。

以上、14ページまでの説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
○櫃田委員長 12ページ上段、非常備消防管理運営事務について。

大西保委員。

○大西委員 新規事業の中で、消防団42名の方に5,000ポイントですか、ということですが、実はこれ、消防団員はトータル104名おられますが、その42名とはどういう方になるんでしょう。私はちょっと、104名だから家族として……。ちょっとお願いします。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 御質問ですが、今、定数104名となっておりますが、実員として98名の団員さんが活動しておられます。2年ごとに勤務成績優秀者の方に対して精勤賞という形で、その区切りでということで約半数の42名ということで考えております。

○櫃田委員長 それに関してですが、精勤者というのは、全出勤日の何%とか、何割とかっていう割合はあるんでしょうか。

関口参事。

○関口参事 明文化した何%以上というものは特にございませんが、基本的には長年勤務していただいている勤務年数というところで考えさせていただいております。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 同じところなんですけれども、たったもポイントを家族の方へということですが、パターンとして、ちょっとすごく細かいことを申し上げますけれども、家族がいらっしゃらない方、本人だけという方もあろうと思いますし、家族にでしたら誰にポイントを付与するのか、その2つをお願いします。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 誰に付与するかという話で、例えば私が団員だとします。私、家族がいます。家内がいて子どもがいて、独立した家計を営んでます、の場合は奥さんのほうに。私が独身で親と一緒に同居しているという場合には、世帯主の方ということになります。今のところ、一人暮らしという方が見当たらないんですが、もしそういった方が出てきた場合には、また検討させていただきたいと考えております。

○櫃田委員長 よろしいでしょうか。

そうしますと、下段、消防施設整備管理事業について。

大西保委員。

○大西委員 まず、耐震ブレーカーですが、昨年もあったんですが、たしか昨年、単価1万4,000円と聞いた。実績、令和7年度の実績は何件あったんでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 7年度実績、1件でありました。

○大西委員 1件。

○関口参事 はい。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 もう一つ、消火栓の更新3基になってます。昨年も3基で、あと、更新をするのはあと何基残っとるんでしょうか。

○櫃田委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 現在の見込みでは、あと十数基は残っている見込みでございます。ちなみに、来年度につきましては、萩原地内で2か所、それから神戸上地内で1か所予定をしてございます。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 なぜそれを聞いたかいうと、去年の予算審査のときに、あと6基と聞いたわけなんです。ですが、これ8年度が3基おれば、あと3基だなということだったんで、記憶ございませんでしょうか。あと6基ですよという説明、メモにしておりましたんで、あと3基かなと思うんですが。（発言する者あり）

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 今、若干声も聞こえておりましたが、改めて、今後の予定箇所等も資料提出という形では出させていただきたいと思います。私も、曖昧なちょっと返答を申し上げましたが、改めて、本年度の予定は3基でございますが、今後の見込みということで御提出させていただきたいと思います。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 消防ホースの購入ですけれども、実は、この話をいろいろと、地域に帰って話を聞いたりした中で、実はホースを入れる格納庫というか、これがボロボロだという、結構出てまして、今回、議会からもいろいろと言ったときに、このホースのことばかり言っとったんですけども、実際として、運用するに当たって、その格納する容器というか、ボックスですね。この辺りもちょっと柔軟な運用を考えていただいて、支援していただけたらというやな思いがあるんですけど、どうでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 実際、私どもも住民さんとお話をしている中で、格納箱についても何とかないかという話はいただいております。なんです、これまでも消防施設整備の補助金というところで、2分の1を出させていただいております。全体の予算のこともございすし、すみません、現行どおり、当面補助金の中で続けさせていただければと考えております。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 この事業予算なんかどうか、ちょっと何とも言えないんですけども、実は水道の、水洗の基本料金を、水道事業のほうに水洗の分を繰り出すという……（「消火栓」と呼ぶ者あり）ああ、ごめんなさい、消火栓ですね、消火栓の台数分を繰り出すということになっと思ったんですけども、その予算というのは、全部見てよく分からないんですけども、水道事業会計のほうにはどこから繰り出す形になるんでしょうか。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。先ほど御指摘いただきました消火栓分の繰り出しにつきまして、建設課のほうの予算でして、附属資料ですと70ページ目のところの下段の簡易水道事業のところに消火栓分ということで積算をさせていただいております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 消防ホース購入事業と関連して、先ほどボックスのお話が出ましたけれども、そのボックス以外にも、金属の部分ですね、何ていうんですか、名前が分かんないですけど、要するに水が出る部分ですとか、あるいは径を変えるアダプターみたいなものもいろいろ、そういう附属品もあると思うんですけども、そういったものも先ほどの補助金、2分の1補助の対象に全部なるということによいですか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 おっしゃるとおり、いわゆる水が出るところ、管鎗という部分ですね、あとは径を変えるアダプター、そういったもの、おっしゃるとおり対象としております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そしたら、現状、これだということで、それは仕方ないのかもしれないんですが、やっぱりね、方針としてそれならそれでやってもらえればいいんですけども、そのホースに関しては、まち協で計画的に替えてたのに、今になって全部町が見るのかっていう、そういう意見もあったわけですよ。だから、将来的にそういうほかのものも見てもらえるんだったら、今は待ってるんですという選択肢もありますし、やっぱその辺は難しいのかもしれませんが、基本的に令和11年度まではホースを替えるということですが、令和11年、それが終わった後、じゃあ、次はボックスをやりたいとかっていうことに……。

○櫃田委員長 岡本健三委員、それはちょっと意見に近いのですが、例えば、毎年いろんな希望とか要求とか要望があって、徐々に進化していったる予算を見て言っているの、じゃあ、今まで何もしなかったかっていうわけじゃなくて、それは今後どうなるか分から

ない状況じゃないですか。

○岡本委員 だから、どうなるのかなっていうことをお聞きしたかったんですけども。

○櫃田委員長 だから、それはちょっと答えにくい質問だと思いますので。

○岡本委員 はい。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 すみません、同じ消防ホースの購入ということで、令和11年まで4年間かけて、もう古いですね、1990年から2009年製造のホースを換えていくということですが、これ、これを、ということは全、要するに、この消防ホースの本数というのはもう把握されたということでよろしいでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 各自衛消防さん、それぞれ調査をしていただきまして、総数が1,385本ということで確認しております。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 ということは、毎年、この4年間で、200本ずつ替えていかれるということなら800本替えられるわけですが、残りの500本自体が新しいホースであるということで、これは確認ですけど、間違いないですね。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 おっしゃるとおりになります。2010年製造以降のものについてはまだまだ耐用年数があるということで、その後、その年度以降から20年サイクルで更新していくということで考えております。

○櫃田委員長 よろしいでしょうか。

そうしましたら、13ページ、防災対策事業について。

岩崎昭男委員。

○岩崎委員 以前にもこれ申し上げたかと思うんですけど、メール配信システムというのがございます。これは火事、火災等が発生したときに、メールでどこどこで火災発生というのを消防団員に伝えるものですか、ちょっとその確認をまず。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 委員おっしゃるとおり、火災が発生しました、あるいは自然災害、行方不明者とか、そういった有事が発生した場合に、消防団員、あるいは登録してある関係する町職員にメールで状況を知らせるというシステムになっております。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 そこで、今、以前はですけども、自衛消防団員にそのメールが届いてない仕組みでありました、以前は。それをぜひやっぱり地域の消防団員にも伝えていただきたいという御意見があったということを何回かお伝えしたんですけども、登録した人数、人によってこの料金が違って来るんだから、なかなか厳しいよというようなことをおっしゃったんですけども、その辺は、その仕組みというのは以前から変わらず、自衛消防団員にもやはり現状でも届かない仕組みなんではないでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 現状そのようになっております。おっしゃるとおり、配信先を登録すれば届くというものなんですけど、何名までの契約幾ら、何名を超えて何名まで幾らというところで、予算のハードルがございまして、その辺で今足踏みをしてる状況であります。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 実際、消防、消火とか、災害時とかいうのは非常にその他の部分で、町を挙げていろんな団体組織を動かす中において、情報が届かないっていうのは非常に哀れなことであります。なぜそれだけの、他には、ほかのところにはいろんな予算、何とか計画をつくるための何とかっていうことでつくるんですけど、実際動く人たちにその情報が伝わらんっていうのは非常に情けない状況だと思います。そこら辺りは再考していただきたいと思うんですけど、どうでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 おっしゃるとおりだと思います。実際、今、消防団の皆さんには、団長さんから新入の団員さんまで届いております。ただ、幾つか耳にするのは、それぞれ担当する区域が決まっています、分団ごとに。最優先、主とする分団、それから第2出動というその次の分団まではいいんですが、いや、うちは特に今回の有事には絡まないよねっていうところにもやっぱり届いちゃって、そのたびにどきっとするっていう、そういった御意見もありまして、多分その同じような状況が自衛消防さんの中にも起こると思います。その辺は、また現場の御意見も伺いながら検討してみたいというふうに考えております。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 このページの一番下から2つ、新規事業がありますね、耐震に関する新規事業があります。これのちょっと説明が新規でないので説明をしてください。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 耐震設計と耐震改修です。この事業なんですけど、一昨年からやっております耐震診断において問題がありますって判定が出た住戸家屋に対して、県、それから町からの補助金で、まず問題のある家屋のどうやったら耐震強度保てますかっていう設計を行いますと、さらにその設計を行った家屋に対して、今度は実際に改修もしましよと、一連の流れで耐震強度を高めていこうというものであります。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 昨年の結果を受けて今回上げたということですか。それで、そうすると1件ずつ見てあるけど、これは同じ1件に該当するわけですか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 今年度までが、町としては耐震診断の事業しかありませんでした。それとは別に8年度から一連の流れでやっていきたいと思いますということで耐震改修、それから設計改修というメニューを新たに付け加えたというところであります。なぜ1件かと申しますと、この制度、もともと県の制度で、これに乗っかる際に県の担当者とやり取りをいたしまして、県の予算の中で全市町村に配分をしていくというところで、まず、まだ日南町にはそういった実績が少ないというところと、あとは住宅密集地であるとか、あるいは人口割というところからいきまして、そんなにたくさんはという御意見をいただいています。当面、当初予算では1件、需要があるようであれば途中から追加という形で件数を増やしていただけというところで、今1件で計上しております。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 これ、これは例えばうちの、例えばうちの家がもう古くて、これはちょっと耐震の診断は前あったですよ、耐震診断というのが前あったですけど、設計をしてくださいというのは、こっちから申し込むんですか、それとも行政のほうで、この家はこれを使ってくださいというふうに申請をするわけですか、どういう形を取ればいいんですか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 行政のほうからあなたのお宅は危険ですよってということではなくて、住民さんの側からちょっと我が家は心配なんだから見ていただけないか、見てくれないかというところで、こういった補助がございます、使ってみませんかということでお勧めするという方向で実施しております。申出があつてというところですよ。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 ですから、じゃあ、町民の方がちょっと診断、えっ、診断は、昨年度までは

予算があつて、その受けた方が今度は設計をしてくださいと行って、設計をしてもらったから直してねという、直す、改修の170万が出るわけ、ということになる、流れとしては。だから、新たに、これはもう設計になってますから、耐震診断というのは去年、昨年7年度までに耐震診断をした方に限るということになるんですか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 そこに限定はいたしません。昨年度、今年度、診断を受けていただいて、耐震強度が不足していますという診断が出たお宅があったとします。その場合、当面手はつけてませんでしたけれども、やはり心配なので設計、改修も頼めないかという話があればお受けいたしますし、新年度、新たにまた診断を受けて、その結果を受けて、じゃあ、改修もお願いしますってことであれば、その流れでということと考えております。

○櫃田委員長 實延課長。

○實延総務課長 補足をさせてやってください。同ページの委託料の中に、本年度も引き続き、無料診断の費用5件分を計上してございます。まず診断から、御心配の方、お申込みというか、していただきたいですし、これをしたしてないにかかわらずですが、ある程度もう耐震が必要だと、で、設計に取りかかる、あるいは改修が必要だという方は、まず、御相談からになるうかとは思いますが、本町では新規で1件ずつこのたびお願いをするものでございますが、件数に応じては適宜対応したいと思ひますけれども、こういう、何ていいますか、耐震が必要な場合に、安心して暮らせる改修等に進めたいという方をサポートしたいという思いでの事業でございますので、この辺りは診断も含めまして、引き続き御遠慮なく御相談いただきたいですし、御活用いただきたいということで御理解賜りたく存じます。お願いします。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 まず、今のところですけども、設計事業、新規の設計事業と改修事業ですね、耐震の。これ内容、要綱とかはもうできてるんですか。どのくらいの率で補助されるとか、上限は恐らくこの金額なのかなとは思ひますけれども、どうでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 この制度につきまして、県からの指導をいただきながら、今、作成の途上です。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。そしたら、またできたらそれは教えていただきたいと思ひま

す。

それで、別の質問ですが、上のほうの需用費の３番目の新規で、Ｊ－ＡＬＥＲＴ受信機更新ということで４４７万７，０００円ということなんですが、ちょっとこれ、受信機、４００万円の受信機っていうのがどんなものなのかっていうのが、はい、教えてください。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 年に２回ですかね、これはＪ－ＡＬＥＲＴの訓練です、スピーカーから流れて、機能点検をしているところですけども、あの受信機です。あれが総務省消防庁の所管になってますが、その大本の総務省のほうで新しい器材に入れ替えますというところで、それに伴って全都道府県、市町村が同じ受信機を持っていますが、それを新しいものに、対応できるものに替えなさいという趣旨でこのような高額なものになっております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 ということですか、元の国がもう要するに変わってしまうので、合わせてくださいということなんですね。そうすると、国からお金が出てもよさそうなものですが、財源の中にちょっとどうなんですか、これはあるんですか、国からの支援というか、負担というか。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。御指摘いただきましたＪ－ＡＬＥＲＴの受信機の更新事業への財源のことですが、この更新のための補助金ですとか、国からの基金、お金、支払い等、これ用としてのものは現時点ないというふうに伺っております。これまで普通交付税ですとか、そういったところの積算の中にこういったものも含まれているんだというような説明も一部ございますが、ただ、御指摘いただくように結構高額です。ですので、こういったところは、別の機会にはなるんですけども、県や国への要望ですとか、事務の相談等をする機会がございますので、こういったところはやはり財源を明記していただけるほうが、こちらとしても取り組みやすいというところもありますので、また相談はしていきたいというふうに思っております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 ぜひその相談はしていただきたいと思います。それで、その４００万円の受信機ということについてもうちょっとお聞きしたいんですけども、これは台数とかは何台あって４００万円なんでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 台数につきましては、1台でございます。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうですか。ちょっとすみません、私も無線機とか、こういう受信機とかってことに詳しくないのであれですけども、それはやっぱりJ－A L E R Tということで、非常に、何ですか、セキュリティが高いとか、あるいは、何でしょうか、極端に言ったらミサイルがぶつかっても大丈夫とか、それでこんなに高いのか、何で高いのか分かればちょっと教えてもらいたいですけども。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 すみません、技術的なところは私には分かりかねるんですが、ミサイルがぶつかっても大丈夫かと言われますと、この庁舎の中にありますので、大丈夫ではありません。ただ、なぜ高いかですね。要するに、汎用的に使うものではなくて、もう都道府県とか、市町村とか、供給先が限られているというところで、設計やら生産コストが高いのかなというふうに推察しております。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 ちょっと1点ほど伺います。財源のほうで、内訳で、危険木等事前伐採推進事業施設管理業者負担金とありますが、この管理業者というのはどういった団体であるのか、その点ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。今回記載させていただいてます管理業者負担金につきましては、こちらは中国電力さんがこの事業に関して負担される負担金ということになります。これまでもそうなんですが、中国電力さんとか、N T Tさんのほうが電線を使っとなれ、電柱電線を使う、何ていうんですか、ありますので、そこの管理ですとか、保全を図る、町として事業をしますので、負担金ということで一部頂いていたものになります。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 それと、これ新規事業の中の改修事業のほうですが、「耐震診」と書いてありますが、これ何かほかに、改修等はほかに何か要件が必要なことが含まれているこの診断の「診」でしょうか。要らんじゃないの。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。御指摘いただきましたところですが、すみません、記載の誤りがありますので、この「診」の字は消してやっていただけると助かります。

○櫃田委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 ちょっと2点伺いますけれども、先ほど言ってたJ－A L E R Tの受信機器の更新は役場に設置するということです。それは情報無線のほうで、そのJ－A L E R Tの試験のときに各家庭にも来てましたけれども、そちらのほうは今のままで大丈夫っていうことでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 委員おっしゃるとおりです。あくまで受信する機械の更新で、受信した後、その先、住民さんたちにお知らせするそのシステムはそのまま活用できますので、あくまで更新するのは受信機のみということになります。

○櫃田委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 それから、耐震診断のことについてなんですけれども、このたびの地震で被害があった家庭もあるわけですから、屋根とか壁が壊れて、それを修理するということについては別の補助が受けられるわけですから、改めてその耐震診断をして、それに対する対策もしてほしいというふうに思った場合にも、この診断が受けられるのかどうかをお聞きします。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 今回1月の地震の話ですね。実際、1件御相談いただけてます。住むに当たって、当面は問題ないというところで、おいおいというふうにおっしゃってる方もおられますが、その方以外でも、もし、今回の地震で、もともと柱に隙間があったけど、今回の地震で開いちゃいましたとか、心配なんですけどという方おられれば、また改めて御相談いただければというふうに考えております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 ここでお聞きしたいのは、需用費の中で、A E Dパッド・バッテリー交換、これは幾らなんですか。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。今回、A E Dの消耗品、パッド等の交換につきましては5か所分ということで、47万1,000円を考えております。場所といたしましては、役場のものが1か所、阿毘縁分団の機庫、山上分団の機庫、人権センター、あとは保健センターというところの計5か所分ということで考えております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 それに関連して、これは昨年度の予算では全くなかった項目なんです、AEDのレンタル料が新たに項目増えとるわけ、23万8,000円。昨年はなかったわけ。これは、AEDは今5か所言いましたが、町全体のAEDのレンタル料でしょうか、これ各消防団の機庫にほとんど整備されとると思うんですが。

○櫃田委員長 石倉室長。

○石倉室長 失礼します。今回レンタル料で上げておりますのが、今御指摘いただいたみたいに、これまでは購入して、AEDそのものを購入して配備をしていました。その本体のほうで、年数がたってきて更新が必要になってくるものが今回4台出ております。ですので、今後につきましては、本体を買い直すのではなくレンタルにしていこうというふうに思っておりますので、4台分のレンタルを新たに開始したいというふうに考えるものです。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 もう1点ですが、実は防災行政無線、例えば家の中にあります、そして、外に放送の機能ありますが、ちょこちょこ聞くのは、放送は聞こえるんだけど、家の中のやつが聞こえないと。アンテナを幾らやっても無理で、場合によれば追加で何か補修工事をやらないかんようなことを、困ってる方もおられましたんで、例えばそのような情報は何件ぐらい受けておられるのか、そして、その中のこの費用が、今、昨年よりも約80万ぐらいプラスされとるんで、今現在350万の予算を見ておられますが、それはそのような費用なんでしょうか、保守点検等の費用でしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 この保守点検費用というのが各御家庭にある戸別受信機のお話ではなくて、町として持っている防災無線のシステム、これの保守費用になっております。委員おっしゃる各御家庭で屋内にある受信機が聞こえづらいとか、あるいはノイズが入るとか、そういったお話も伺っております。そういったものに関しましては、季節によって、木に葉がついてまいりますと電波が届きづらい、あるいはLED電球を使いますとノイズが入る、あるいは入りづらくなるといったいろんな原因があります。その都度、御相談いただくたびに職員を派遣して、今対応しているところであります。特に、ですから、この保守点検費用の中にそれが入ってるということではありません。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 そういったときは、もう無償で聞こえるように、例えば外からのアンテナ、

壁穴抜けてアンテナつくるとか、いや、その辺をちょっと聞いとるんですね。ちょこちょこあるんですよ、鬼林山からで電波が悪い、ふだんは聞こえるがたまに聞こえないときがあると。それぐらいは今現在何件ぐらい総務課のほうで聞いておられるのか。やはりちょこちょこ聞くわけですね。その今現在の把握されている件数で、その保守点検対応の費用なのか、いや、それは別ですと、要はそれを教えていただきたい。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 申し訳ありません、御相談いただいてる件数については把握できておりませんが、御相談には逐次、今日御連絡いただいたらば、できるだけその日のうちにとということで、職員を派遣して確認を取っております。今までは屋内アンテナだけで通じていたが、突然聞こえなくなりました、そういった場合も確かにございます。そういう場合には、外部にダイポールアンテナっていう、あれを取り付けて受信できるようにということで、これにつきましては費用はかかっておりません。

○大西委員 ああ、そう。

○関口参事 なので、今後も、もし聞こえづらいとか、入らなくなった、ノイズが入ったってということがありましたらば、遠慮なく御相談いただきたいというふうに考えております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 確認ですが、先ほどもあったAEDなんですけれども、これは、先ほど5か所については御紹介がありましたが、町内全体で何か所、どんなところに配備されてるのか教えてもらえますか。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 数についてはかなりございますので、後ほど書類のほうで提出させていただければというふうに思います。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 じゃあ、資料のほうお願いします。

それで、その使い方なんですけれども、何ていうんですかね、AEDそのものは、多分ほとんど知識のない人でも説明書を見て、その場で使うことも可能なものだと思うんですが、ただですね、ただ、消防団に置いてあるというような場合に、例えば夜間に地域でそういう、心肺停止された方があったというときに、もうすぐにでも使いたいというような場合に使えるようになってるのかどうか。つまり、119番して来てくださってという形

で来てもらえれば、多分それはAEDを持ってきてくれるんでしょうけれども、そうではなくて、もう時間がないから自分で使いたいというような場合に、AEDを使うことが可能な状態になっているのかどうかっていうことをちょっとお聞きしたいんですけども。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 それぞれの消防団機庫に1基ずつ配置してあります。それは、特に鍵を開けなければ入れないとかいうものではありませんので、ただ、シャッターを開けていただいて、ちょっと力は要るんですが、開ければ見えるところに大抵ありますので、使っていたらというふうに考えております。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。じゃあ、使えるんですね。それだったら、それを多分ちょっと地域でそこにあって使えるっていうことを知ってる人は少ないように思うんですけども……（「自衛消防団は知っとるわい」と呼ぶ者あり）自衛消防の方は知ってるのかなとは思いますが、それを、あるならある、使えるなら使えるってことをもう少しちょっと周知していただいてもいいと思うんですけども、どうでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 おっしゃることだと思います。周知の仕方についても検討させていただきたいと考えております。

○櫃田委員長 よろしいでしょうか。

岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。じゃあ、ぜひぜひお願いします。

別のことなんですけれども、災害備蓄品のことですね。連携備蓄物資の現況についてということで、ちょうど1年前には資料を頂いてるんですが、まだ目標数量に達してないもののがかなりあったんですが、その後どうなってるか教えてください。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 昨年の時点で数量に達していないもの、あるいはこの1年で使用して目減りしたもの、そういったものについても、今年度の新規で購入しております。それでもまだ一部足りないものがあります。来年度予算で逐次充足できるように努めてまいります。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そしたら、取りあえず現状、3月1日時点とかでも構わないので、現状の資料をまた出していただくことはできるでしょうか。

○櫃田委員長 関口参事。

○関口参事 承知しました。ただ、まだ棚卸しが全部済んでいないところもございまして、少しお時間をいただければというふうに考えております。

○櫃田委員長 そうしますと、14ページ上段、単独災害緊急対策事業。（「なし」と呼ぶ者あり）

中段、公債費償還事務、元金。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段、公債費償還事務、利子。（「なし」と呼ぶ者あり）

全般を通して。

岡本健三委員。

○岡本委員 ページでいうと、5ページ上段の、職員健康福利厚生事業ということですが、これいつも聞いているんですが、休職されてる方の数、もし休職されてる方がおられたらですけれども、ちょっと教えていただければと思います。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 今、育児休業中の職員が3名、それから休職の方が1名、病休の方が2名という状況でございます。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。ちなみに育休というのは、皆さん女性の方なんですかね、男性は対象者がいないという感じなんですか。

○櫃田委員長 花倉室長。

○花倉室長 現状取られて、取得をされている方は女性の方ですが、男性の職員からも現時点で相談を受けていますので、まだ取得はされてないですけども、相談は受けている状態です。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 分かりました。相談受けとられるってことであれば、ぜひ積極的に男女ともに取っていただければというふうに思います。

○櫃田委員長 そしたら、私からちょっと1つ確認したいんですけども、AEDの更新が必要なものというのは、耐用年数が来たものなのか、それとバッテリーの交換とあるんですが、パッドは1回使えば交換必要だと思うんですが、バッテリーの管理はどのようにされてますでしょうか。

石倉室長。

○石倉室長 失礼します。御指摘のようにパッド等につきましては、使ったものについては当然交換は必要ですが、使わないものについても、やはり何年かたちますと、粘着が効かなくなってまいりますので、交換が必要になります。同じように、バッテリーにつきましても、たとえ使わない状態であってもやはり年数がたちますとどうしても弱ってまいりますので、これも交換のタイミングがやってまいりますので、本体とは別で、何年に一度というのが決まっておりますので、それに合わせて交換をさせていただいてるところです。

○櫃田委員長 分かりました。

そうしますと、以上で総務課の予算審査を終了いたします。お疲れさまでした。

暫時休憩とします。再開を14時20分とします。

〔休 憩〕

○櫃田委員長 予算審査特別委員会を再開いたします。

まち未来創造課の審査を行います。

島山課長。

○島山まち未来創造課長 失礼いたします。そうしますと、令和8年度まち未来創造課所管事業予算について説明させていただきます。

説明に入る前に、本日の説明員のほうを紹介させていただきます。

まち未来創造課課長の島山です。どうぞよろしくお願いいたします。

私の隣、川上参事です。

○川上参事 よろしくお願ひします。

○島山まち未来創造課長 その隣、荒金主幹です。どうぞよろしくお願いいたします。

そうしますと、令和6年度決算審査特別委員会の審査意見に対する対応について報告のほうをさせていただきます。

地域づくり推進課、企画一般管理事務での審査意見でございます。外国人材活用に係るモンゴルからの人材受入れについて内容を精査されたいという御意見でございます。地域づくり推進課への御意見であります、令和7年度まち未来創造課で検討のほうしてまいりましたので、私のほうから対応状況について説明のほうをさせていただきます。なお、先日の大西議員、櫃田議員の一般質問に対する町長答弁と重なる部分が多いですが、御了承ください。

現在、様々な職種において人材の確保は大きな課題となっております。実際に、病院ですとか日南福祉会の現場では、ミャンマー、フィリピンなどから人材の受入れを行い、今

後も受入れが計画のほうをされております。日南町としても、引き続き国籍にかかわらず、事業者の中核を担う優秀な人材を確保していきたいというふうに考えております。また、審査意見でいただいた内容につきまして、その方向性を確認するため、令和7年度4月、7月、10月の3回、ゾーンモド市長とウェブ会議で打合せのほうを行いました。その中で、人材確保について、日南町、ゾーンモド市が自治体同士で直接的なやり取りを行うことは現実的に厳しいことを確認し、ゾーンモド市へは、鳥取城北日本語学校と連携した外国人材育成雇用プロジェクトを1つの方法として、町長のほうから説明のほうをさせていただきました。御意見で、やめることを含めということでありましたが、町としましては、国籍にこだわることなく、仮に町内事業者のほうからモンゴル人材受入れの希望があった際には、このプロジェクトを活用して町内事業者を支援できる体制を確保しておくことが、町内事業者にとっても有益であるというふうに考えております。

以上、審査意見に対する取組状況についての報告とさせていただきます。

○櫃田委員長 このことについて質疑ありますか。

大西保委員。

○大西委員 いや、私は町長に何度も言いましたけど、なぜ、また城北にこだわられるのか。鳥取城北に来て、日本語を1年間研修するわけですよ。現在ほとんどの国が、国で全部日本語を勉強して、それで出国してきとるわけですよ。なぜ、そこを、私もこだわりますけど、なぜ日南町では、病院が今回2名ありましたけども、私としては全く理解できません。これは意見です。町長しか言えないと思いますので、意見だけ述べて、残念だと思いますが、はい、以上です。いいです。（「答弁は要らないんですか」と呼ぶ者あり）要らん。

○櫃田委員長 そうしましたら、まち未来創造課の予算審査を行いたいと思います。

15ページから21ページまで。（発言する者あり）あっ、失礼しました、17ページまで、一括でお願いします。

島山課長。

○島山まち未来創造課長 そうしますと、令和8年度当初予算説明附属資料ファイル15ページ、総務費、広報公聴事業のほうから説明のほうさせていただきます。

予算額1,970万4,000円、対前年比179万6,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、ちゃんねる日南無停電電源装置更新作業188万1,000円の増によるものでございます。令和8年度は、新たな情報発信の強化など、様々な情

報発信ツールを活用して、今までのようにちょっとターゲットを定めた情報発信に努めてまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、16ページ、まち未来創造一般管理事務でございます。予算額217万円、対前年比132万7,000円の減でございます。主な減額要因でございますが、実績に伴う報償費12万円の減、台湾販路開拓事業皆減による旅費、委託費合わせて123万2,000円の減によるものです。主な事業内容でございますが、第3期日南町総合戦略及び第6次日南町総合計画後期計画を着実に推進のほうをしましてまいります。第3期日南町総合戦略におきましては、令和7年度の総括及び令和8年度の進捗について、第三者評価委員会において管理、評価のほうをしましてまいります。また、日南町中期財政見通しを踏まえつつ、日南町行財政改革運営指針2025で設定した3つの目標指標を堅持し、持続可能な町財政運営を目指してまいります。また、令和7年度は若者が町内で生き生きと活躍できるまちづくりのスタートとなる年と位置づけ、二十歳を祝う会、シン青年団へ対する支援を実施してまいりました。令和8年度につきましても、人づくりを町のまちづくりの1つの柱と捉え、若者が町内で思い切り挑戦でき、この町で暮らし続けたいと思える環境を整えることで、交流人口、関係人口の拡大に努めてまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、17ページ、指定統計調査事務でございます。予算額60万3,000円、対前年比202万7,000円の減でございます。主な減額要因であります。令和7年度の国勢調査の皆減による減額となっております。令和8年度は、5年に一度の経済センサス活動調査のほうが実施されます。日本国内の全事業所、企業が対象で、売上げや費用などの経済活動を把握し、国の経済状況を明らかにする目的がある基幹統計調査となります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

以上、総務費、まち未来創造課主幹事業の説明とさせていただきます。

○櫃田委員長 15ページ、広報公聴事業について質疑ございますか。

大西保委員。

○大西委員 事業概要の中のちゃんねる日南、町のホームページ、SNSというこの情報発信なんですが、やはり情報発信とは適時、それからメンテナンス、情報のですね。その中でちょっと1点、町のホームページで町長スケジュールがあるわけですが、例えば具体的に言うと、今現在でいくと、2月のスケジュールは出てます。3月の町長スケジュールというのはないんでしょうか。それは、終わってからホームページに出されるんですか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 決まった段階でホームページのほうには上げておると思います。3月につきましては、今御指摘があったように、まだ間に合っていないのだというふうに思っております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 間に合ってるじゃなくて、もう今、もう何日か過ぎてますね。途中で変更はあるかも分かりませんが、2月実績のものは、2月実績のものはいつホームページに載せられたんですか。例えば更新日とか、もし書いてあったら分かるんですが、2月のやつはいつホームページに載せられましたか。

○櫃田委員長 川上参事。

○川上参事 失礼いたします。今ホームページ確認しますが、2月のスケジュールは2月の16日に更新になっておりますが、基本的にはもう少し早く情報を総務課からいただいて出していけるようにしてるはずですので、今の御指摘踏まえまして、改めてすぐに確認して、上げていくようにしたいと考えております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 それでちょっと提案というか、更新日を、ほかのいろんなところ見たって、更新日書いてあるんですね。あつ、そうか、この日にするんだと、翌月も、この今言われました2月16に、これ遅いか早いか分からないですね。だから、3月のやつも、確かに町長スケジュール、途中で変化するかも知れないけど、やはりそのスケジュールによって、やはりそれを、私は、町民のほうから、それをよく見られる方がおられましてね、ちょこちょこ聞くわけですよ。それと、この町長スケジュール以外にも、やはりホームページで町民や町外の方に情報発信しますから、やっぱりその辺の更新時期とか分かるようにしてあげたほうが親切であり、あつ、そうか、日南町はこういうときにこうしてるんだなって分かるんですが、その辺のトータル的なところ、やはりまち未来がリードしてやるべきだと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 大西委員御指摘のとおりだと思います。我々まち未来創造課が、そこはしっかりグリップをしていかなければいけない部分だというふうに思います。しっかりと各課と連携して、そのように努めてまいりたいというふうに思います。

○櫃田委員長 そのほかよろしいでしょうか。

16 ページ、まち……。

山本芳昭議長。

○山本議長 15 ページ、広報公聴事業について伺いをいたします。先日ですけども、町民の方からこの町報を配っていただくのに、チラシがいっぱい入ったり、定例会の後には議会だよりも一緒に入れていただくんですが、大変紙がかさばると。この時代、デジタル化が進んだ時代に、そういう紙では、紙の媒体ではなくて、そういうデジタルなものでも町報を見れたほうがいいんじゃないかと。配る人の負担も減るしという意見をいただきました。少し前、検討はしてるというようなことをちらっと聞いたことはあるんですが、ちょっとその考え方についてお尋ねをいたします。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 議長、御指摘いただきました。我々も、ちょっとその、今、町報に挟み込むものっていうのは、本当に今、事前に頂いたものに関しては、事前に折り込んでお渡しをするんですけども、それに間に合わなかった分は本当に、各班に配られて、その班長さんがまた入れていただくというような、かなり手間を取らせているというふうに考えております。我々も、今、どうにかそこを削減できないかなと。もちろん各課がそこを違った形で情報発信できることを考えてもらうことももちろんなんですけども、例えば SNS を活用して出していくとか、ちょっとその辺を、令和8年度しっかりと検討していくよう今準備をしておりますので、また御報告のほうさせていただきたいと思います。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 先ほど折り込み、一緒に配布するいろんなものの話が出たんですけども、先般、JAさんの「そよかぜ」という冊子がありますけども、あれがどうも毎回配るのをやめて、途中は新聞折り込みをするというような話になっておりましたが、そこら辺りで、例えば今回 JAさんのほうからそういう折り込みの1つとして一緒にお願ひできませんでしょうかっていうやな御相談は入っておりませんでしたでしょうか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 今、まち町未来創造課では把握のほうしておりません。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 一応、念のために申し上げておきますけども、デジタル化は結構なんですけれども、やはり紙ベースでないと情報に当たれないという方も、日南町の場合、たくさんおられると思いますので、その辺りの配慮は、私が言うまでもないとは思いますが、とい

うことを一言だけ申し上げておきます。（「言うまでもない」と呼ぶ者あり）

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 そこを、今、委員御指摘いただいたところに関しては、私たちも、何を電子データで出す、紙ベースで出すというところは、しっかりと精査しなければいけないというところは承知しておりますので、そのように努めてまいりたいというふうに思います。

○櫃田委員長 16ページ、まち未来創造一般管理事務。

大西保委員。

○大西委員 まず、第三者評価委員会関連でいきますと、いつも言うんですけど、進捗管理、1年で6月ぐらいか9月ぐらいに前年度の実績がどうのこうのあるんで、やはり私はいつも言うてるんだが、3か月ごと、クォーター、4分の1の感じでメンテナンスしながらされる、もう一つは、目で、一目で分かる管理、要するに数字を追っていくんじゃない、グラフ化で、5年間で今どの段階行ってるんだということが見えるような、その辺の考え方、また、こういうことしようということを今まで、以前に何回も言ってるんですが、それはどうでしょうか、考えは。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 全協において、12月でしたか、大西委員のほうからも、表のほうも見やすくしてほしいということがありまして、そちらに関しては、計画に対しての実績が分かるような表を、もう既に作成のほうしております。また、四半期ごとの数値を押さえていくということに関しても、令和8年度の第三者評価委員会の中で委員の皆様ともちょっと相談しながら検討してまいりたいというふうに考えております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 それと、第三者評価委員会のトータルの人数が大変変化しております。7年度はトータル16名でしたけども、今回10名まで減ってますが、6人も。これはどのような形で編成替えになったのか。どうしても入れなければならないという方もおられますね、例えば国の関係とか。その変化点をちょっと教えてください。

○櫃田委員長 荒金主幹。

○荒金主幹 失礼します。第三者評価委員会の委員については、現時点で16名というふうになっております。大西委員から御指摘いただきました10人とかという数字については、第三者評価委員会当日に御出席いただいた方の数が10名だといったところでござい

まして、うち6人は、残念ながらこの日は欠席だったといったところが恐らく令和7年第1回の第三者評価委員会ではなかったかなというふうに思っておりまして、今後も毎年委員会開催するに当たって、可能な限り多くの方が御出席いただけるような日を設定させていただいて、多くの方の御意見が反映できるように努めてまいりたいというふうに思っております。以上でございます。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 この人数は実績を基に人数いや、もともと委員さんは16名なんですか。そこまで出席率まで書かれてということで、分かりました。

それと、職員提案の具体化ということで、私も一般質問し、町長の肝煎りな職員提案でございます。それで、今回も人事基本方針をつくるという中で、昨年から、文章がちょっと中にプラスアルファされてます。何かというと、業務管理・キャリア開発シートにおける政策提案等という文言がプラスされてます。これについても、町長の肝煎りがあると思うんですけど、私思うのには、せっかくこういう改善、プロジェクトチームを組んで、そして、何チームかなるか分かりません。僕はこれは大変いいことだなと思っておるわけですよ。それを、例えばどっかの会議の小さいところでぽつとやるんじゃなしに、やはり町職員がこんだけ頑張ってます。それから改善活動ってのはすばらしいことです。例えば、今回、経理的ミスはやめとこうとかね、今まで件数がこんだけ減ったけども、苦情件数がこんだけあった、減らしましょうとか、いろんなのが、改善活動が一番いいわけです。それを町民の皆さんに見ていただくというのが大変いいことだと私は思っているんですが、これをやっぱり町民ホールとか、やはり公開にできるような形にされたほうがいいと思うんですが、その辺の考えはどうでしょうか。

○櫃田委員長 川上参事。

○川上参事 職員提案制度について御質問いただきました。平成26年の制度の開始から10年を超えて、制度自体もマンネリ化してきたという事実があります。今現状では、引き続き、従来の職員提案制度は引き続いてまして、いつ何ときでも、通年通して提案は受け付けますという制度にはしております。ただ、やはり委員御指摘のとおり、公開型でしっかりと説明責任が果たせるような、そういったスキルを育成していくところでは重要であるという認識はあります。ただ、やはり職員の中には、やっぱり自分の提案を公開されて、しっかり審査されるっていうところにやっぱり一定の負担感はあるということも事実であります。そんな中で、それならば、毎年、政策提案、評価シートですね、い

わゆる旧自己申告書になるんですけども、ここには職員提案というところで、政策提案なりというような意見を募集するところがあります。実は、ここには相当数数が出てくるってことがありまして、潜在的な思いを持ってる職員は実に多いというふうに認識しています。それならば、そこから公開してもよいというものにスポットを当てて、町の課題の多いものに対してプロジェクトチームをつくって、整理しながらやっていこうという手法に変えたものであります。その中の1つが、特に若手は、町長も答弁はしましたけれども、若手タスクフォースであったり、今のプロジェクトチームの働き方改革プロジェクト、あるいは農業プロジェクト、あるいは関係人口プロジェクト、こういったもの、特に課題の多いものを抽出して政策的、戦略的にやっていくという手法に変えている経過があります。ただ、重ねてになりますが、通年提案制度は受け付けておりまして、しっかりとした提案をいただける機会は設けておるというところで御理解を賜りたいというふうに思います。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 あんまり難しく考えて、どうのこうので、これは自分の仕事の中でこうだしやなしに、例えば1つの事例でいくと、あかねの郷で一度、私、提案制度で発表があったわけですよ。施設利用者に対してこうやって、それから医療ミスがないようにとか、本当に改善して、それでプレゼンテーションして、問題はこうだった、このように改善した、それでミスがなくなったとか。それから病院もあります、提案制度、職員提案制度。そういう身近なこと、だから、私は大きなことでどうのこうのじゃないですよ、大きなプロジェクトじゃなしに、本当に職員の中で、あ、お客様が来たら情報を必ず、どういうんか、引き出しの中に入れるんじゃないに、そうやって改善活動を。それからもう一つは、封筒でも、誤配布、こういうのはゼロだとは思わないんです。そういうことのやつも、ゼロ配布に、ゼロのミスに、なくすためにどうすべきかとかね。そういう小さな提案の積み重ねが、最終的には町民のため、また職員のレベルアップのためになるわけですよ。そういったことを私はずっと、初めてこんなこと言いますけども、やはりあかねであり、病院であり、そういうような活動されてます。その辺をもう一度見ていただいたりして、やっぱり町職員も、難しいことからじゃない、ほんまに手短なことからやられないと、ああじゃこうじゃなしに、そういう考えはないでしょうか。

○櫃田委員長 川上参事。

○川上参事 御指摘いただきました内容は、しっかり確認を取りながら、私らもその提案自体をヒアリングしてみたり聞いてみたりしながら、あらゆる手法で最善が尽くせるよう

に、制度は柔軟に対応していきたいと思いますし、引き続き、一番よい提案になるように努めてまいりたいと思います。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 次に、先ほど町長がおられたときに、モンゴルの親善協会の年会費が地域づくりからなぜ未来創造に変わったんでしょうかというのと、モンゴルの交流事業ももう消えてしまってる、でもここには載ってない。モンゴルの交流はどこへ行ったんでしょうか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 先ほどの町長の答弁にもありましたけども、令和6年度までは、モンゴルの交流事業のほうにつきましては地域づくり推進課のほうで所管のほうをしておりました。また、雇用、外国人雇用とか、そういったものも地域づくり推進課のほうで所管をしておりましたけども、令和7年度からモンゴルとの交流、文化交流ですとか国際交流、そういった交流につきましては、まち未来創造課のほうで業務を担うということになっております。今回、令和8年度予算の説明資料のほうに、モンゴルとの交流事業のほうは確かに記載のほうがありません。令和8年度に向けて、鳥取県の交流事業というものがありまして、その中で、令和8年度はモンゴルから中学生、高校生が何人か来るような予定になっておりましたけども、ちょっと様々な理由があって中止になったということで、今回、この予算書のほうには記載のほうしておりませんけども、引き続きゾーンモド市とはウェブ会議等を通じて、意見交換等は図っていく予定としております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 私が12月一般質問したときに、町長は、モンゴルからは来年度中頃に、一昨年も、昨年ですか、一昨年、忘れたんですけども、中学生らしき方が石見のほうに泊まられて、どうも交流があったと思うんですね。令和8年度もそういうことありますよってことは、たしか12月の一般質問のときに出たと思うんですよ。それを、この予算の中にも何も出ない、項目も出ないということなんですか。だから、モンゴル交流事業はもう今後なくしていくんですか、それとも、もしやるんなら書くべきだと思う、どっかの担当課が。それでないと、今、交流支援員さんおられますね、その所属は今度はまち未来に所属変更になるんでしょうか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 令和7年度から交流支援員のほうはまち未来創造課のほうの所属になっております。先ほども大西委員おっしゃっていただきました鳥取県モンゴル中央

県青少年交流事業という事業がありまして、2年に1回、モンゴルから、モンゴルの中央県から中学生、高校生が来る事業がありまして、令和8年度は鳥取県のほうにやってくる事業で、親善協会のほうからも受入れのほうの相談を受けておりました。確かに12月のときに、町長のほうからそういう予定があるという説明のほうをさせていただきましたけれども、年を明けてからの理事会のほうで、今回、日南町への訪問がちょっと見送られたということで御連絡のほうをいただきました。その理由といたしましては、移動に係る費用のこと、あとはホームステイ先の確保が難しいという理由のほうで、令和8年度の日南町訪問は見送られたという経過でございます。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 ちょっと1点ほど。職員提案の具体化等の欄ですが、キャリア開発シートということで、先ほど説明があったわけですが、これはいつ頃からこの取組をやっておられるのか。それからまた、それによってプロジェクトチームを結成すると昨年度のこの予算書の事業計画にもあるわけなんですけど、昨年度どれぐらいのプロジェクトチームができて、今年度どれぐらいのプロジェクトチームを予測されているのか。予算はないということなんですけど、その点についてお考えをお伺いしたいと思います。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 まず、令和7年度につきましては、6つのプロジェクトチームのほうで、6です、動いております。その中で、1つ目が庁内働き方改革チームで、2つ目が行財政改革推進チーム、3つ目が物価高騰対策チーム、4番目が関係人口拡大強化チームで、5つ目が令和の日南農業創生プロジェクトチームで、6つ目が、町長からもありました若手タスクフォースという今年度6つのプロジェクトチームのほうで動いております。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 プロジェクトチームの話が出ておりました。私思います。まち未来創造課、本当、予算のこの説明資料、3ページしかありません。まち未来のやっぱり予算説明書ではあるんですけど、予算は予算なんですけど、何をやっ取るかというのが、いわゆるこの今のまち未来創造課のこの一般管理事務の中に、先ほどおっしゃいましたプロジェクト、もうそれは人が、職員が動くから予算はここには出てきません。要は、予算があつての事業じゃなくて、やることあるわけなんですよね、それが明確に書くべきだと私は思うんです、ここに。これが2ページ、3ページあるべきですよ、まち未来の創造課の事業説明

資料とすれば。これが確実に予算、金が動かんと仕事はないよみたいなやり方では、まち未来創造課の価値がないなと思います。ここにずらっと、これだけの庁舎内のプロジェクトをまとめてやっていきますよということを書くべきだと思いますが、どうでしょうか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 御指摘いただきました。確かにここの、まち未来創造一般管理事務の記載だけを見ると、確かに少ないなというところかもしれませんが、確かに予算は伴わないが動いていることっていうのは数知れずあったりすると考えております。そちらにつきましても、今後、今日意見いただきましたので、そのように、しっかり何をしたか、何をしていくかというところは記載のほうしていくようにしていきたいというふうに思います。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 今の御意見とも関連すると思うんですが、大学連携、これ非常に熱心にされてると思います。それ、その情報発信が、報告会とか折々されてるのは分かるんですけども、それで、私も申し訳ない、なかなか参加できてないというところはあるんですが、ちょっと今ホームページを拝見しても、鳥取大学と大阪市立大学ですか、この記事はあるんですけども、多分もっとたくさん大学連携というのをされてると思うんですが、今進行中の連携のプロジェクトですとか、これまでの結果とかっていうものは、何ていうんですかね、知ることができるんですかね、住民の方たちは。

○櫃田委員長 荒金主幹。

○荒金主幹 失礼いたします。大学連携についてでありますけれども、地元の鳥取大学であったりとか、あと連携協定結ばせていただいております大阪市立大も含めて、今、様々な県内外の大学の皆さんとの連携をさせていただいているのは本当に事実でございます。確かにおっしゃるとおり、ホームページだけを見ると、あまり項目が載っていないといったところもございました。実はSNS、フェイスブックだとか、インスタグラムだとか、あちらのSNSを中心に大学の皆さんとの関わりを上げているんですが、やはりホームページを中心に見られる方もいらっしゃると思いますので、今後そういった事業があった場合には、適宜ホームページのほうも更新ができるようにしてまいりたいなというふうに思っております。以上でございます。

○櫃田委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そうですか。SNSは、何ていうんですかね、次々と、あることを次々と発

信していくというのには向いてると思うんですけども、何かをためておいて、何か必要な資料を引き出すというのにはちょっと向いてないという感じがするので、何にも上げるっていうのは、仕事量が増えるのは大変かとは思いますが、ちょっとできるだけアクセスしやすいような形を取っていただければと思います。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 そのとおりだというふうに思います。ホームページのほうで情報を取られる方、特にまとめて情報のほうを見たい方というのは、恐らくホームページに来られるというふうに思います。ちょっと内部で検討のほうしてまいりたいというふうに思います。

○櫃田委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 二十歳を祝う会のことについてなんですけれども、実行委員さんも含めて、どうも計画しているようなんですけれども、何人ぐらいの実行委員さんで、どのような内容を検討して行っているのかを教えてください。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 二十歳を祝う会の実行委員につきましては、その学年学年でやり方が違うというところがありまして、例えばもう中学卒業した段階で、じゃあ、君たち実行委員ねって決めてしまうような年代もあれば、本当に押し迫ってきて、わっと、じゃあ、3人とか4人とか5人とかってということもあって、もう決まってははいないっていうのが状況でございます。

○櫃田委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 では、誰かがでも中心になって祝う会をどうしようかっていうのを、卒業時なのかもしれないし、間近になってからにしろ、そういう形でやってるってことですか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 委員おっしゃるとおりでございまして、もう決まってる年代につきましては、その子たちが中心になってやりますし、決まっていない年代というのももちろんあります。そういった年代につきましては、役場のほうからちょっといろいろつてを通じて声かけをさせていただいて、例えば代表者の方を決めていただいて、そこから何人かに声をかけていただいて、実行委員会を結成していただいて、そこに我々も入っていくというようなやり方を取っております。

○櫃田委員長 荒金敏江委員。

○荒金委員 昨年の、ああ、今年度か、のに参加しまして、何かもっと、どういったらいいんでしょうかね、町として、何とか戻ってきてほしいっていう思いがすごく強く感じられる会だったっていう印象と、あと、もっと若者たちらしいっていうか、そういうものにできたらいいのになというふうに思いましたので、これは意見になるんでしょうか。

○櫃田委員長 じゃあ、意見として。

川上参事。

○川上参事 町としては、ぜひ戻ってきてほしいんですが、それが押しつけになってしまったとしたら申し訳なかったなとは思いますが、基本的には、先ほど島山が申し上げましたとおり、企画立案から実行チームを組んで、そこに町の職員、我々も関わっていく格好で、どういう会にしていこうかという会を決めていきます。やはり彼らにとっては一生に一度の会ですので、ぜひすばらしい会にしたいという思いを持って、今年度については、本課も横断幕とか、こういったものを掲げさせてもらいましたし、中の、その式典が終わった後の交流会も、どういうふうな交流会にしていこうかというようなことをしっかり詰めてきたつもりであります。先ほど御説明しましたとおり、その年々によっては違いますが、やはり目的とするのは一生に一度の会です、対象者さんが満足していただけるような会にしたいというふうな思いを持っておりますので、御意見踏まえながら、来年度以降また検討していきたいと思っております。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 ちょっと意見になるかも分かりません。以前に、その二十歳の会やら、それ以外にも、日南町で友人たちと集まって、イベントして、飲食店で会、補助しましょうと、たしかそのようなことあったと思うんですよ。それによっていかに日南町へ帰ってきて、またいろんな話ができ、ああ、そしたら帰ろうかなという誘い水もあったんですが、それはもう今現在は全くなくなって、復活という考えもないでしょうか。

○櫃田委員長 島山課長。

○島山まち未来創造課長 大西委員おっしゃったとおり、ちょっと前までありましたけども、たしか利用率がそんなに思わしくなくて、今はもう事業としては、同窓会補助金だったと思いますけど、今は多分やっていないんじゃないかというふうに思います。

○櫃田委員長 そうしますと、17ページ、指定統計調査事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）

全般ございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、まち未来創造課の予算審査、終了いたします。お疲れさまでした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日
委員長

副委員長